

## 日本保健福祉学会誌 執筆規程

### (制限事項)

1. 投稿原稿は原著、論説、研究ノート、総説、資料ともに、図表、写真を含み、刷り上がり10頁以内が望ましい。ただし刷り上り1頁は400字詰め原稿用紙のほぼ4枚に相当する。
2. 写真、図、表は白黒原稿に限る。

### (提出の方法と様式)

3. 原稿は、原則として、パーソナルコンピューターまたはワードプロセッサで作成し、印刷出力(A4版25字×20行)と電子媒体を提出(事務局へのメール添付またはCD-R等にて提出)する。
4. 印刷出力は正版1部、副版3部、合計4部を提出するが、副版は複写でもよい。
5. 投稿原稿は、表紙、和文抄録、英文抄録(Abstract)、本文、図、表、写真の順で重ね、左上をダブルクリップで閉じて封筒に入れ提出する。
  - (1) 表紙には上半分の部分に表題(英文付記)、論文枚数、図・表及び写真などの数、キーワード、原稿の種類を記載する。正版のみ下半分に、著者名と所属・肩書き(共著者含む、英文付記)、別刷必要部数、編集委員会への連絡事項及び著者(共著の場合は筆頭者)の連絡先(住所、電話、FAX、e-mail)を記載する。
  - (2) 和文抄録は800字以内とし、目的、方法、結果、結論にわけて見出しをつけて記載する。
  - (3) 英文抄録(Abstract)は300語以内とする。必ず専門家または英語母国語話者のチェックを受け表題、本文、キーワードの順にダブルスペースでタイプする。なお、表題はすべて大文字とし著者名と所属はここには記述しない。
  - (4) キーワードは5個以内とし、日本語、英語ともに全国社会福祉協議会「現代社会福祉学辞典」、日本医学会「医学用語辞典」、医学中央雑誌刊行会「医学用語シソーラス」、日本科学技術情報センター「JICST科学技術用語シソーラス(2008年版)」、同「英訳シソーラス」、「Medicus Index」に記述された索引語を用いなければならない。

### (提出先)

6. 投稿原稿は下記へ提出する。外封筒の表に「日本保健福祉学研究原稿」と朱書する。

〒305-8577 つくば市天王台1-1-1  
筑波大学人間総合科学研究科 国際発達ケア研究室内  
日本保健福祉学会事務局  
電話 029-853-3436 / e-mail : tae@fureai.or.jp

### (受理の確認)

7. 受理された投稿原稿に対しては、委員会から受理日、受理番号などの記載された受理確認票が発行される。

### (使用言語)

8. 投稿原稿は、原則として、日本語とする。ただし図・表・写真などの説明文については英語を用いてもよい。外国語による投稿論文の場合は事前に問い合わせ、編集委員会の許可を得た上で執筆するが、制限頁数などについては別途定める。

(本文の表記法)

9. 投稿論文のうち、原著等の論文の構成は原則として以下の通りとする。
- i. 和文抄録 目的・方法・知見のまとめ (Abstract に相当)
  - ii. 緒言 (研究の目的)
  - iii. 研究方法 (方法と対象等)
  - iv. 研究・調査・実験・解析に関する手法の記述、資料・材料の集め方
  - v. 研究結果 研究などの結果・成績
  - vi. 考察 結果の考察・評価
  - vii. 文献 (文献の記載方法は後述)
  - viii. 英文抄録
10. 本文の表記法については以下の通りとする。
- (1) 新かなづかいを用い、楷書で簡潔に記述する。
  - (2) 章、節、等の数字は I. 1. 1)、の順に使用する。
  - (3) 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを用いるが、特殊な、あるいは特定分野のみで用いられている単位、符号、略号ならびに表現には、必ず簡単な説明を加える。
  - (4) 外来語はカタカナで書く。外国人名や適当な日本語訳のない術語などは原綴を用いる。手書きの場合、ローマ字はタイプを用いる。イタリック体で印刷する必要がある部分は、印刷出力に朱色の波型線アンダーラインで示す。
  - (5) 図、表及び写真の原稿は明瞭なものでなければならない。図 1、表 1 及び写真 1 などの番号を付け本文とは別にまとめておき、本文印刷出力原稿の欄外に、それぞれの挿入希望位置を朱書で指定する。

(文献記載の様式)

11. 文献は本文の引用箇所の肩に 1)、1～5) などの番号で示し、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。文献の著者が 3 名までは全員、4 名以上の場合は筆頭者名のみあげ、他とする。
12. 雑誌などの略名は、邦文誌は日本医学図書協会編「日本医学雑誌略名表」に、欧文誌は「Index Medicus」に従って記載するが、雑誌所定のものがあればこれを用いる。

(記載方法の例)

13. 記載方法は下記の例に従う。
- (1) 雑誌の場合  
小川 浩, 宮崎恭一, 林 高春. 5 日禁煙講習会の成績. 日本公衛誌. 1988. 35. 80-84.  
Browson RC, Chang JG, and Davis JR. Occupation, Smoking, and Alcohol in

theEpidemiology of Bladder Cance. Am J Public Health. 1987. 77. 1298-1300.

(2) 単行本の場合

重松逸造, 小張一峰, 今川八束. 伝染病予防必携第3版. 日本公衆衛生協会. 1986.25-30.

西岡和男, 公衆衛生に関する国際統計. 橋本正己, 丸地信弘, 川口雄次, 他編. 世界の公衆衛生. 日本公衆衛生協会. 1981. 747-765.

Rothman KJ. Modern Epidemiology. Brown and Co. 1986. 56-57.

(3) 訳本の場合

Last JM. A Dictionary of Epidemiology. Oxford University Press. 1983.

重松逸造, 春日斉, 柳川洋訳. 疫学辞典. 日本公衆衛生協会. 1987. 60-61.

(4) 原則として、特殊な報告書、投稿中論文、私信、その他で、一般的に入手不可能な資料は文献としての引用は認めない。

(印刷の体裁)

14. 印刷の体裁は編集委員会に一任する。

**日本保健福祉学会誌 編集委員**

委員長 芳賀 博 (桜美林大学)

副委員長 岩田 美香 (法政大学)

黒木保博 (同志社大学)

藤林慶子 (東洋大学)

松浦賢長 (福岡県立大学)

委員 安梅勅江 (筑波大学大学院) (50音順)

佐藤秀紀 (日本医療大学)

住居広士 (県立広島大学)

延原弘章 (埼玉県立大学)

三浦 剛 (東北福祉大学)